

令和 8 年度 市民生活部運営方針

部局名 : 市民生活部

部局長名 : 政狩 拓哉

基本方針（政策目標）

市民生活部は、市民の暮らしに最も近いところで、日々の困りごとを的確に受け止め、解決につなげる部局です。小さな困りごとの解決を重ねることで、暮らしやすいまちをつくっていきます。

令和 8 年度は、手続きの便利さと、人にしかできない思いやりのある対応を両立します。また、誰もが無理なく関わり、力を発揮できる地域づくりを進めます。そして日々の生活の中で、思いやりや環境を大切にする行動にもつなげていきます。

市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、「おたがいさま」「おかげさま」の気持ちが育つ、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

重点方針

① 手続きの先に、安心を届ける

コンビニ交付や旅券の電子申請など、時間や場所にとらわれない手続きを広げます。一方で、出生、転居、婚姻、死亡などの手続きは、人生の節目に関わるものです。便利さだけでは、市民の安心は生まれません。正確で円滑な手続きを土台に、不安や事情に寄り添い、「ここに来てよかった」と感じられる窓口づくりを進めます。

② 地域の思いを、まちの力に変える

地域には、「まちをよくしたい」という思いや、暮らしを支え合う力があります。小学校区ごとに地域の課題やアイデアを話し合うまちづくり協議会の設立支援、自治会運営の負担軽減、ながら見守り防犯活動の充実などを通じて、誰

もが自分らしく、無理なく力を発揮できる仕組みを広げます。

③ 思いやりに気づき、自分らしく暮らせるまちへ

性別や年齢、立場による思い込みは、知らないうちに誰かの可能性や選択肢を狭めることがあります。第4次男女共同参画推進計画に基づき、家事力アップ講座や男女共同参画交流サロン「にんじんサロン」での学び・交流を通じて、日々の生活の中で思いやりの大切さに気づき、行動を変えるきっかけを広げます。

④ 身近な環境を、よりよくする行動へ

ごみの減量、食品ロス削減、資源循環、みどりの保全、エネルギーの有効活用は、市民一人ひとりの日常とつながっています。ごみゼロ大作戦、スポ GOMI 大会、廃食油回収、環境学習、市民とともに桜を守るクビアカ対策などを通じて、まちをきれいにし、資源やみどりを大切にする行動を広げます。